

平成29年度第3回みよし市男女共同参画審議会 次第

日時 平成30年2月28日(水)

午前10時から

場所 市役所 2階 201会議室

1 あいさつ

2 議 題

アンケート調査結果の報告について

3 その他

# 次期みよし市男女共同参画プランの策定に伴う市民アンケート調査結果報告

## 1 調査結果概要

### (1) 調査方法

- ・調査対象 みよし市在住の16歳以上の男女各500名（無作為抽出）
- ・調査期間 平成29年11月15日（水）から12月15日（金）まで
- ・調査方法 郵送による調査票の配布及び回収

### (2) 回答数

372通（うち有効回答数371通）

### (3) 回収率

37.2%（前回36.5%）

### (4) 集計結果

別添「男女共同参画社会に関するアンケート調査結果報告」のとおり

### (5) その他

アンケート調査結果については、後日、市HPにて掲載予定

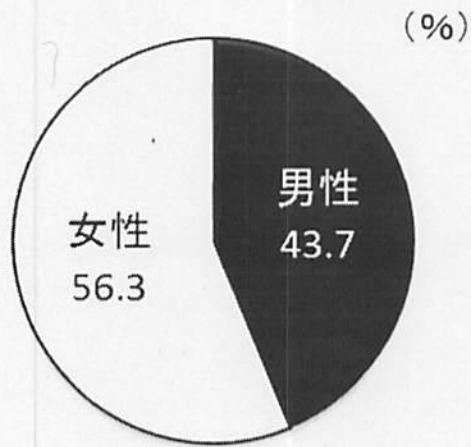
## 2 今後のスケジュール

年月日	審議会	内容
H30.2.28	H29 第3回審議会開催	アンケート調査結果の報告
H30.3~6		アンケート回答内容の分析 プラン見直し案の作成
H30.7	H30 第1回審議会開催	市長からの諮問 プラン見直し案の検討
H30.8		最終原稿案の作成
H30.9	H30 第2回審議会開催	市長への答申 最終原稿案の提示、検討
H30.10		最終原稿案の修正 パブリックコメント準備
H30.11		パブリックコメントの実施
H30.12		パブリックコメントの集約 最終原稿作成
H31.1	H30 第3回審議会開催	パブリックコメントの結果報告 最終原稿確認
H31.3		次期みよし市男女共同参画プラン策定

**A. あなたの年齢・ご家族などについておたずねします。**

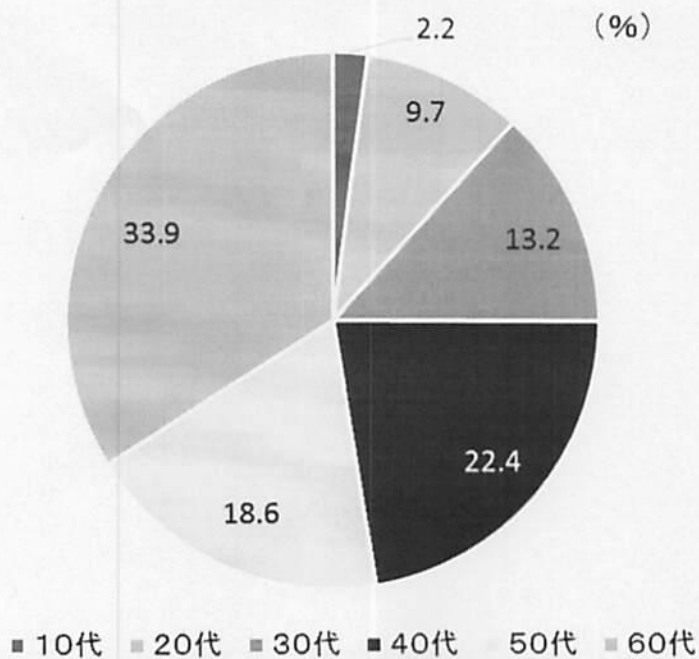
問1 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○を付けてください。

問1 性別

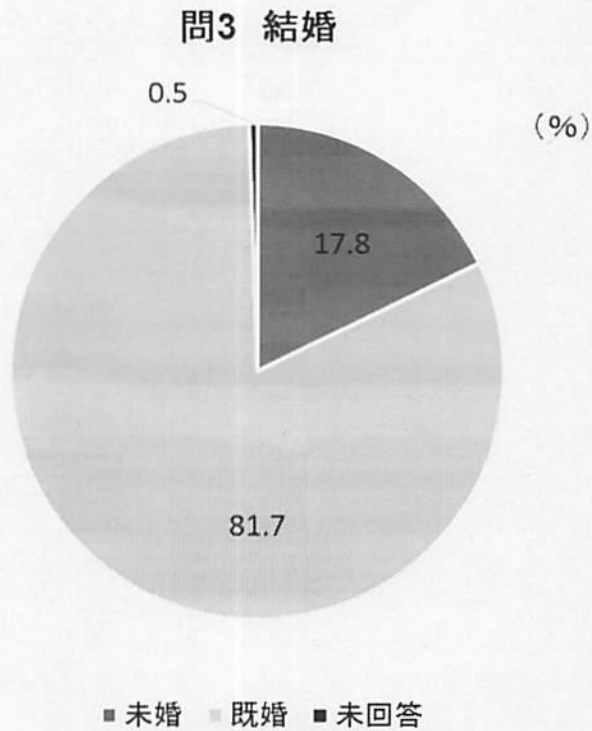


問2 あなたの年齢(平成29年1月1日現在の満年齢)は次のうちどれですか。あてはまる番号に○を付けてください。

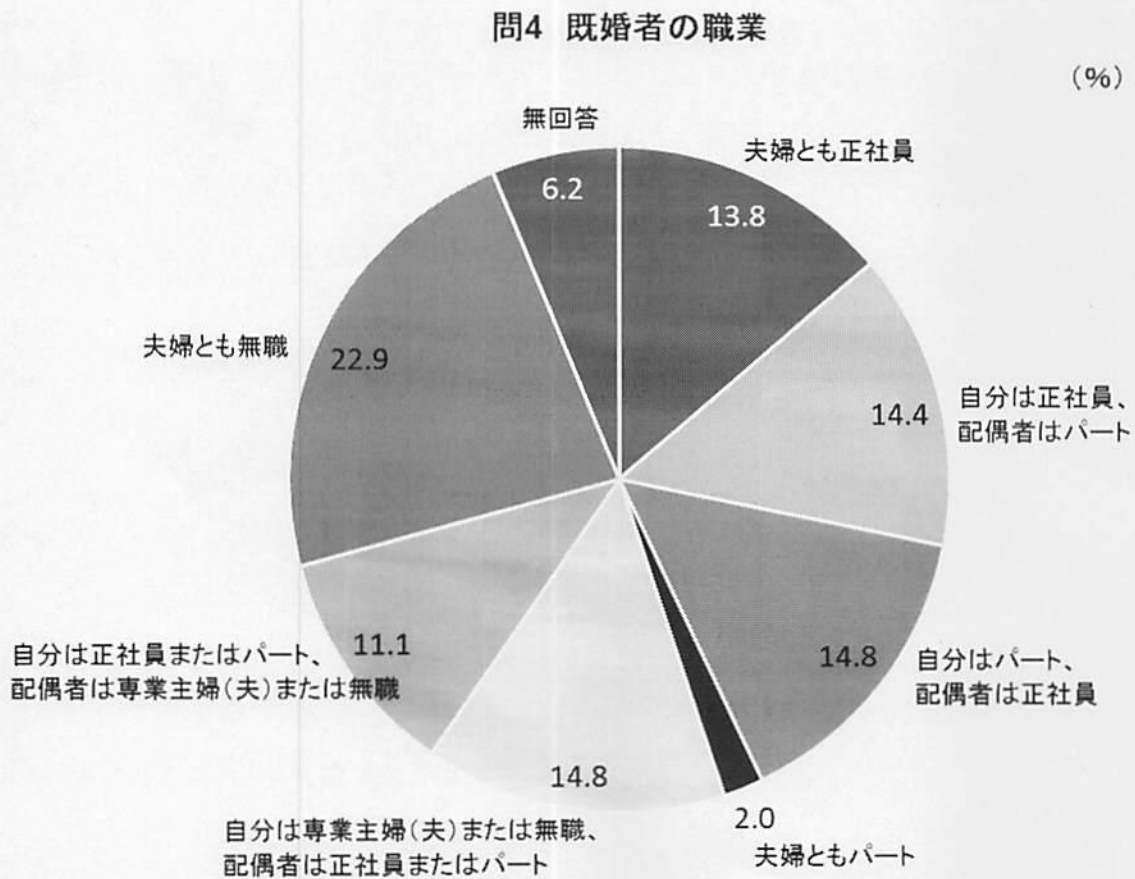
問2 年代



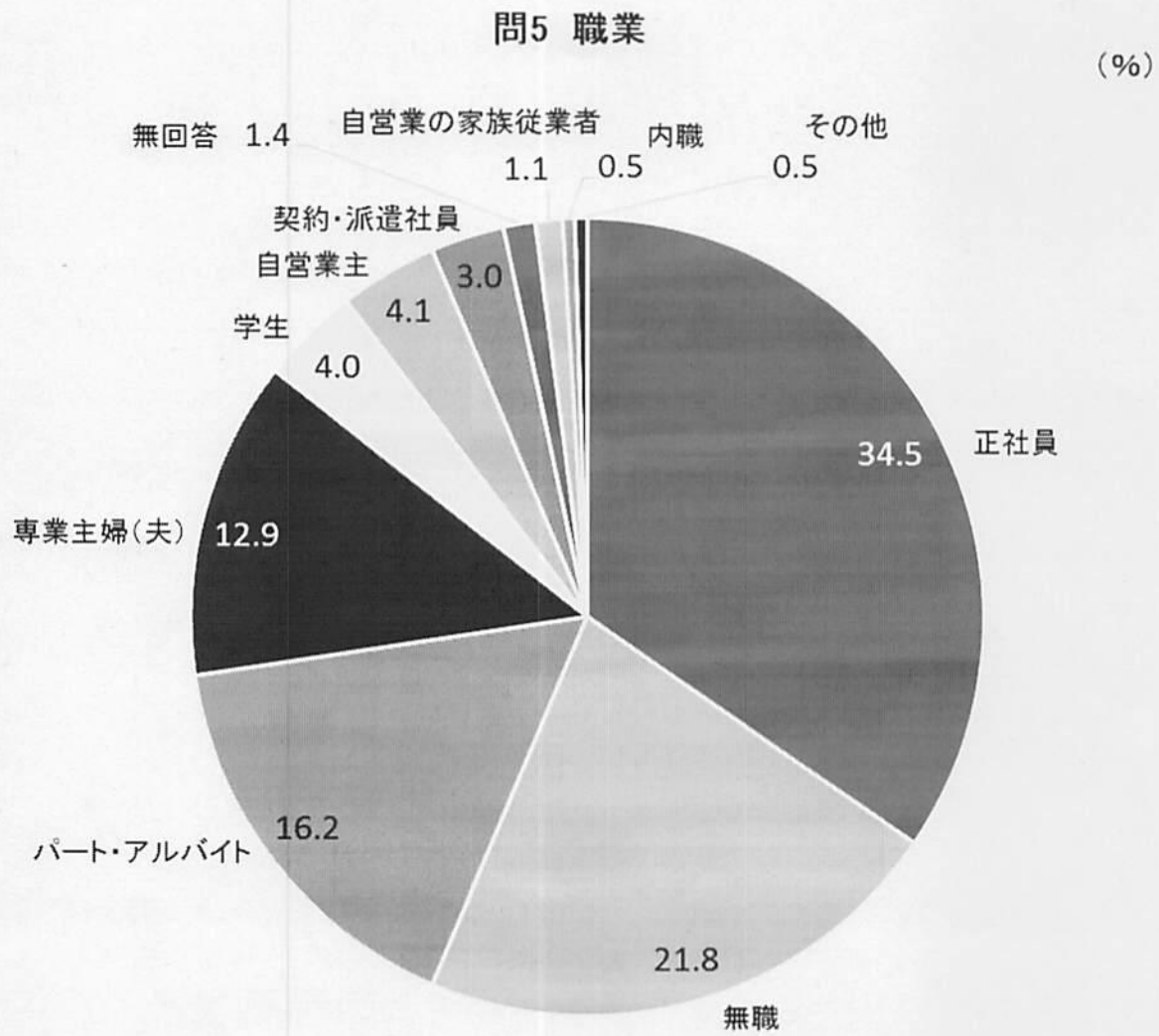
問3 あなたは結婚していますか。あてはまる番号に○を付けてください。



問4 <<既婚(現在配偶者あり)の方にお聞きします。>>  
あなたは夫婦共働きですか。あてはまる番号に○を付けてください。



問5 あなたの職業は何ですか。あてはまる番号に○を付けてください。

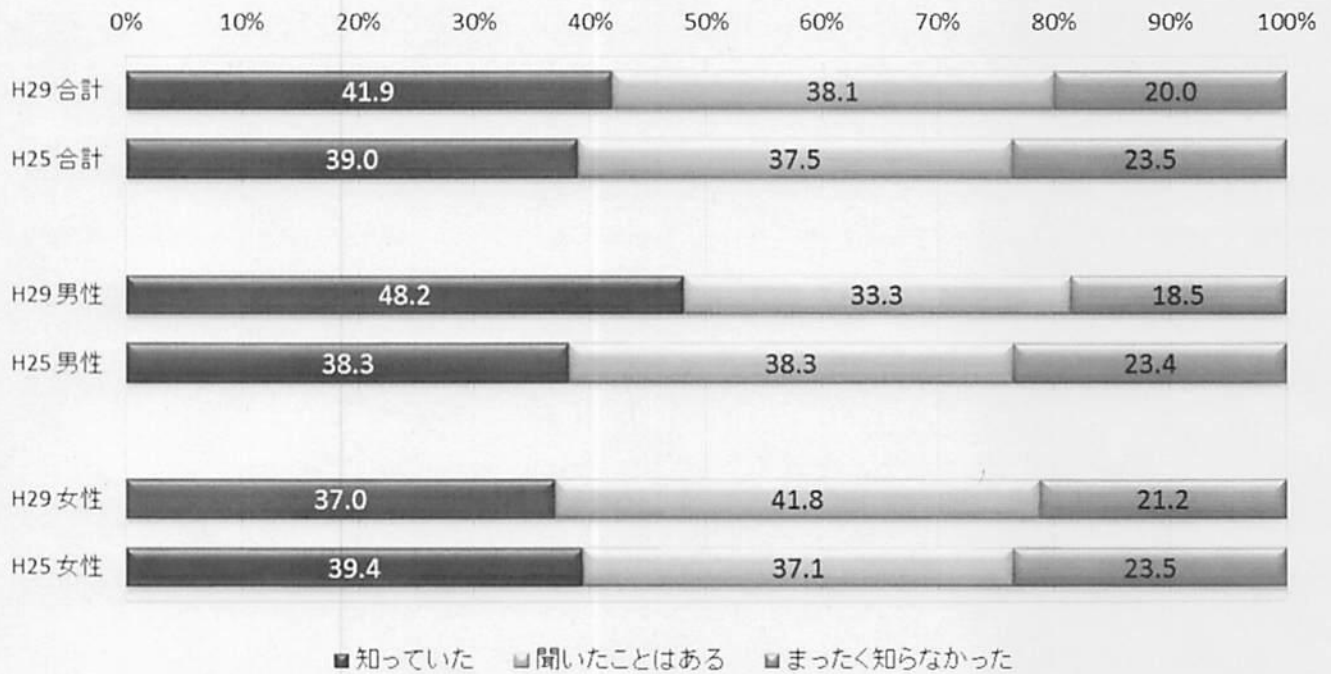


## B. 男女共同参画社会の意識について

問6 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。

あてはまる番号に○を付けてください。

問6 認知度（男女別）

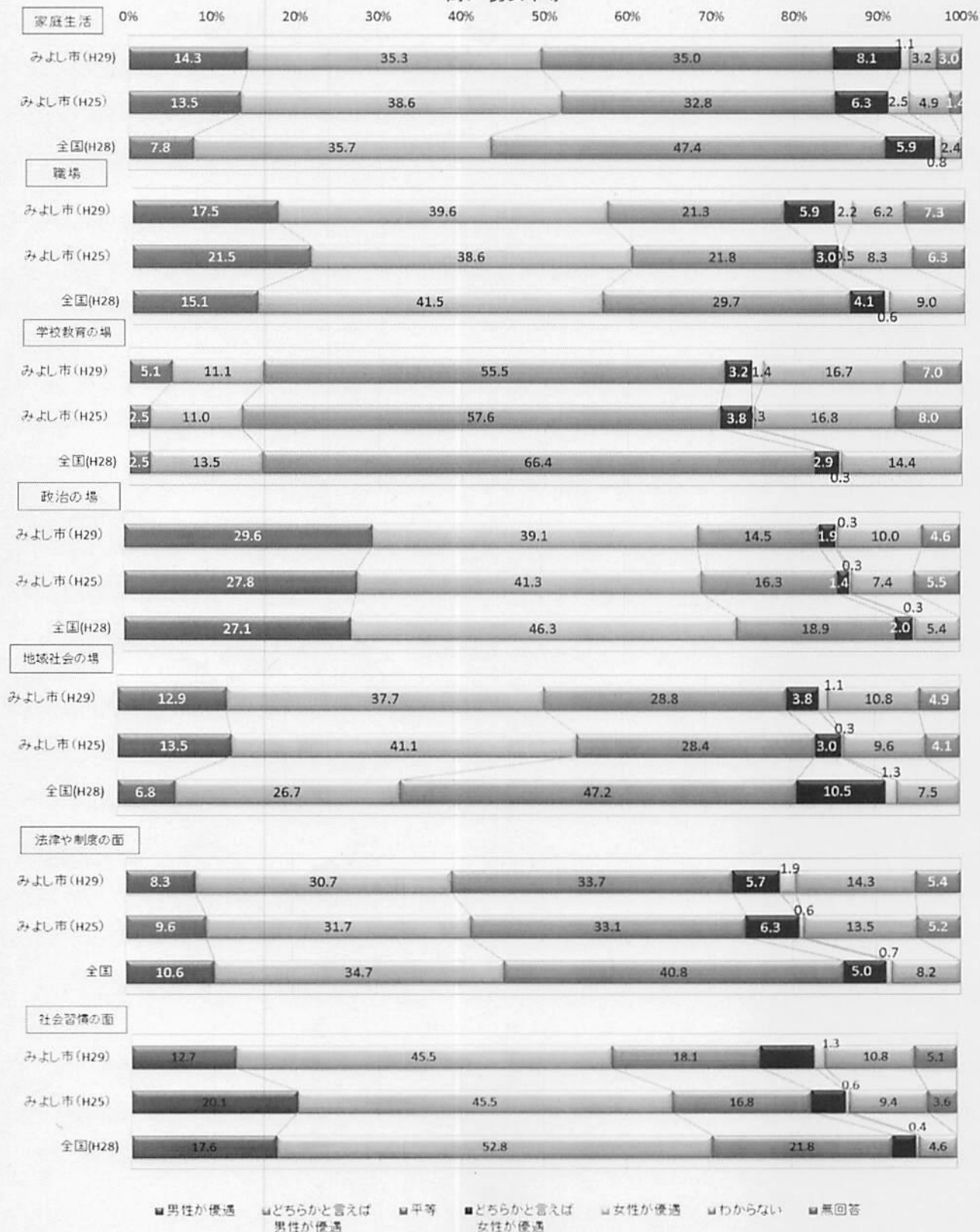


- ・「知っていた」「聞いたことはある」と回答した割合は、H25 調査と比較すると、男性、女性とも増加している。

問7 家庭生活で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それぞれの質問項目で、あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

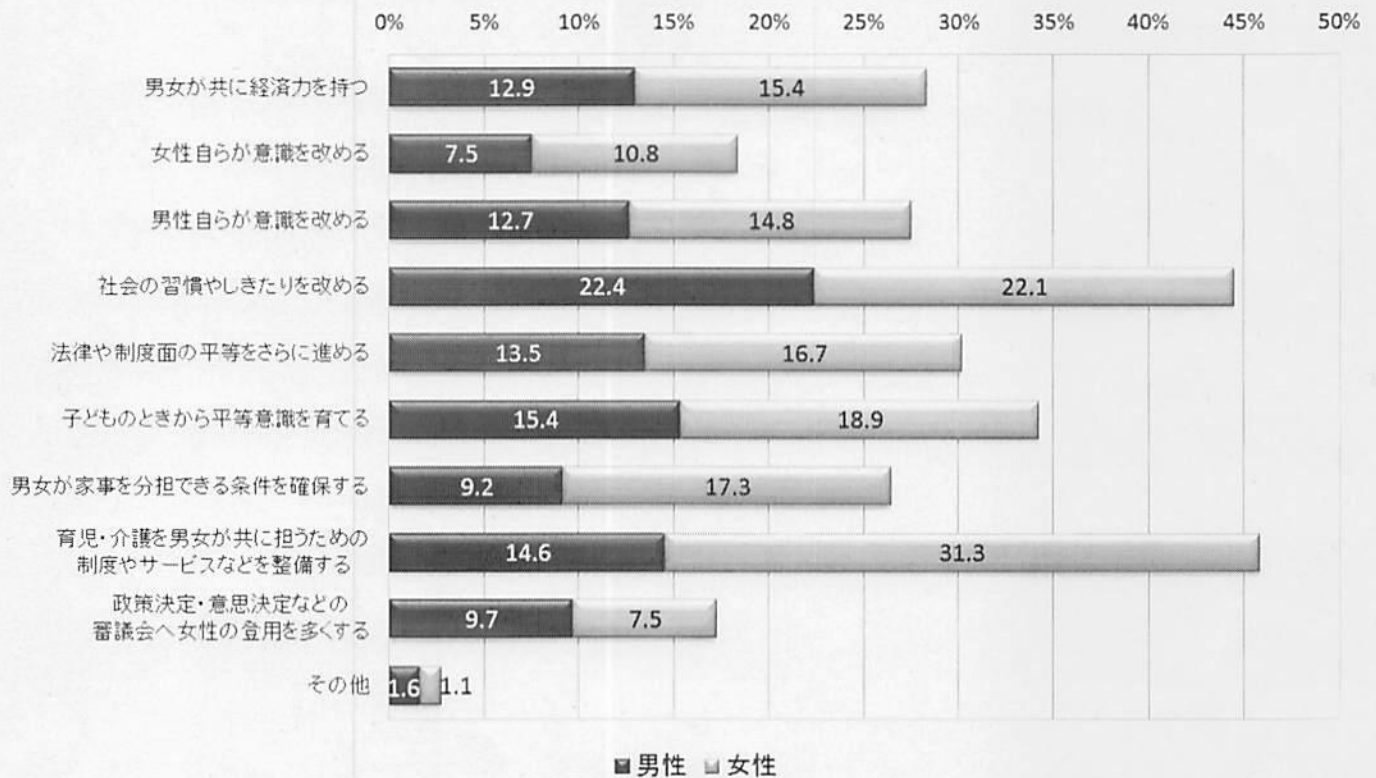
問7 男女平等



- ・「学校教育の場」で、平等になっていると回答している割合が高い。「政治の場」や「社会習慣の面」では、平等であるとの回答割合は低く、「男性が優遇」「どちらかと言えば男性が優遇」の回答割合が高くなっている。

問8 あなたは、男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、何が重要だと思いますか。重要だと思うもの3つを選んで○を付けてください。

問8 社会のあらゆる分野で平等になるために重要な点（複数回答）

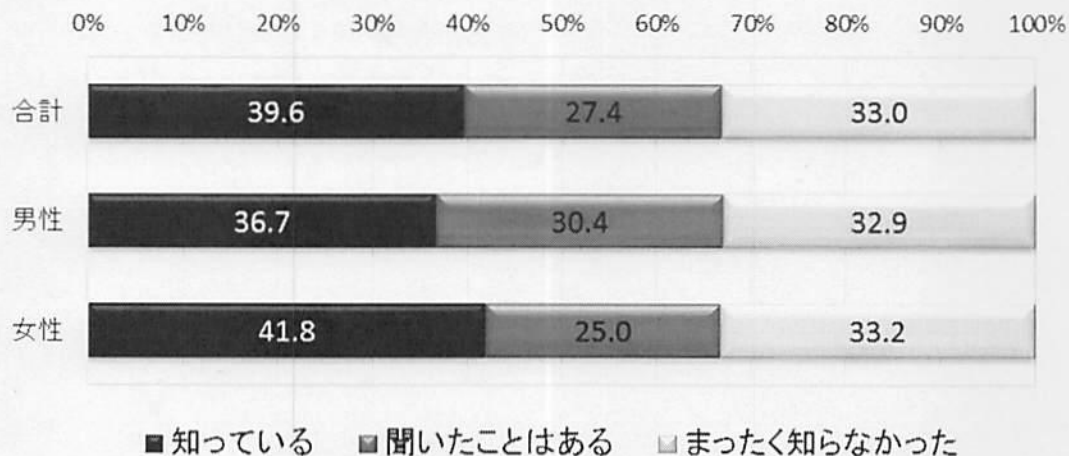


- ・「育児・介護を男女が共に担うための制度やサービスなどを整備する」、「社会の習慣やしきたりを改める」の回答が高く、H25 調査と同様の結果となった。
- ・「子どものときから平等意識を育てる」が H25 調査と比較して 7.6 ポイント増加している。



問9 あなたは「LGBT」という言葉を知っていますか。  
あてはまる番号に○を付けてください。

### 問9 LGBT（男女別）



- ・LGBTの認知状況については、男女とも同様な結果となっており、「知っている」との回答が全体の4割弱であり、「聞いたことはある」「まったく知らなかった」は6割を超えている。

問10 LGBTなど性的少数者の人々への理解について、あなたが特に課題だと思われるのはどのようなことですか。

あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

問10 あなたが特に課題と思われることはどのようなことか

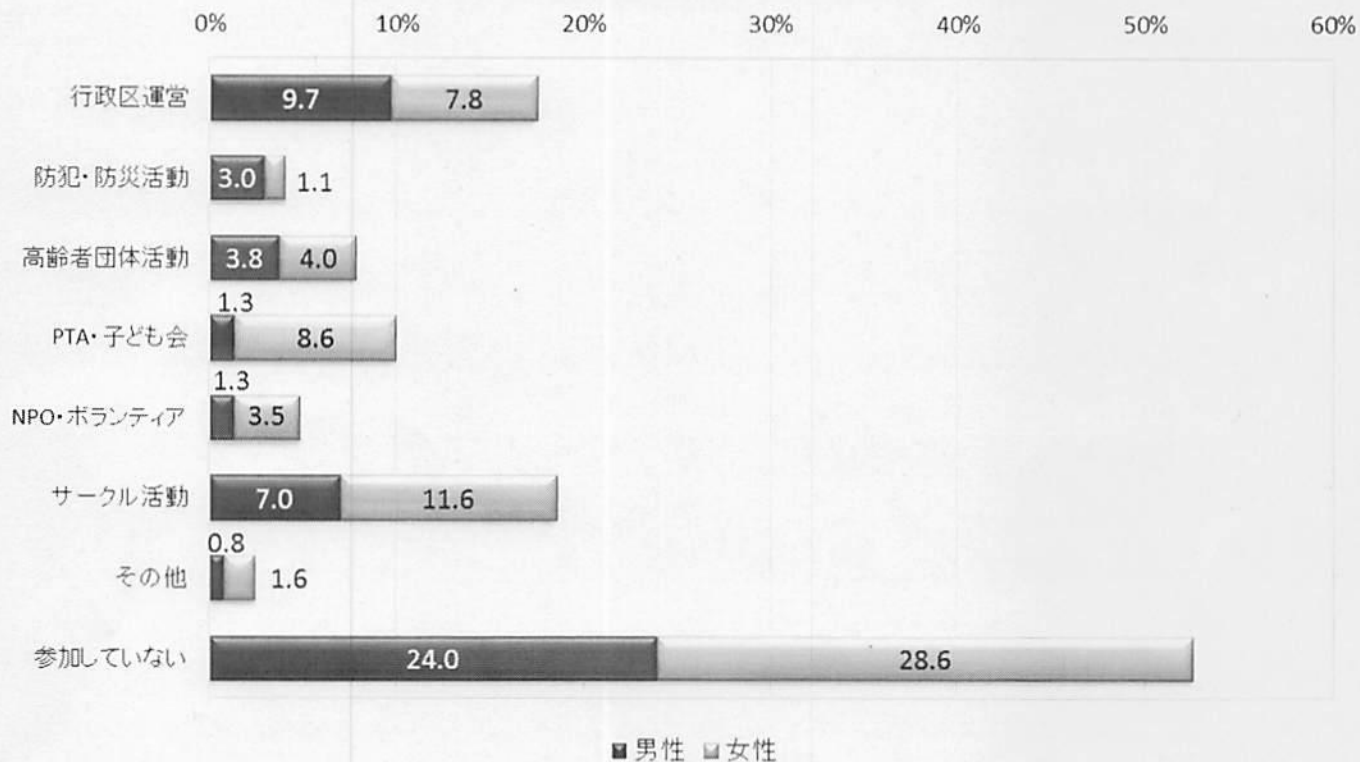


- ・LGBTなど性的少数者への理解についての課題として「LGBTについて正しい知識を得る機会がないこと」の回答が最も高い割合となっている。

## C. 地域における男女共同参画について

問11 あなたは現在、自主的な地域活動に参加されていますか。  
あてはまる番号すべてに○を付けてください。

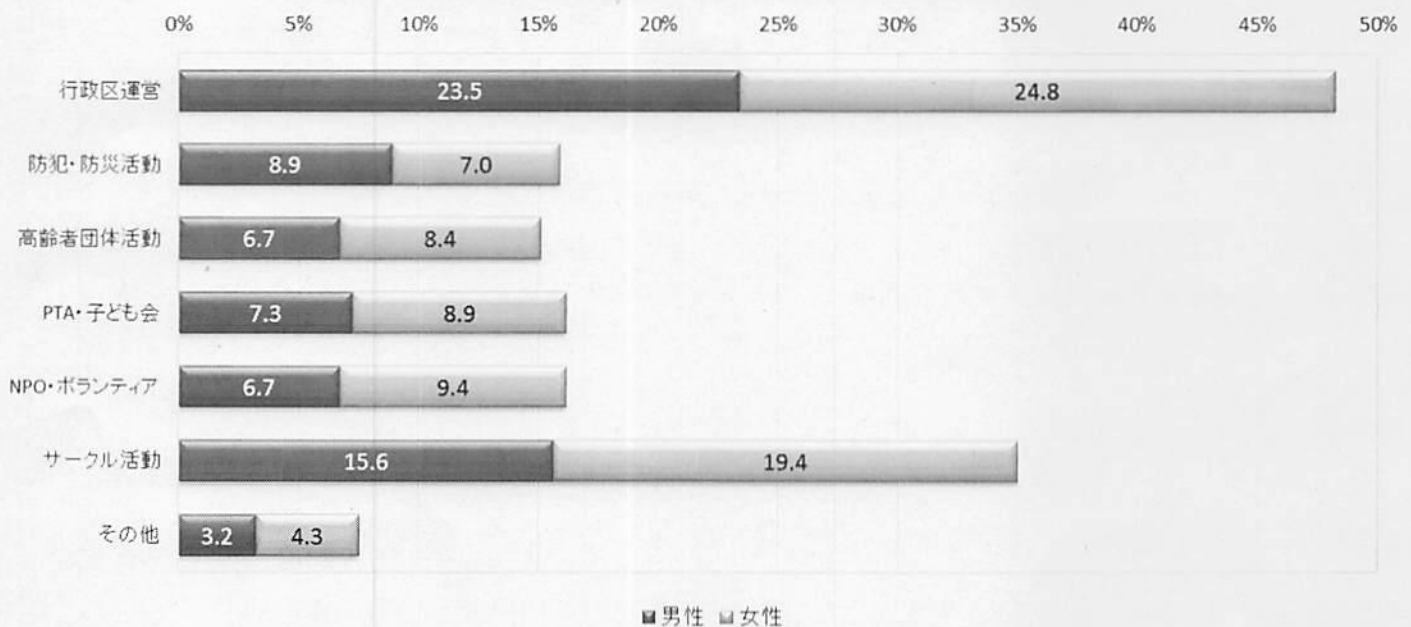
問11 地域活動への参加（複数回答）



- ・自主的な地域活動への参加については、「サークル活動」18.6%、「行政区運営」17.5%、「PTA・子ども会」9.9%の順となっている。
- ・「PTA・子ども会」、「NPO・ボランティア」、「サークル活動」はいずれも男性より女性の方が参加割合が高い。
- ・行政区運営への参加は、17.5%であり、H25 調査の 11.5%に比べ 6 ポイント増加した。
- ・「参加していない」と回答した割合は、52.6%と最も高く、H25 調査と同様な結果となっている。

問12 今後女性が積極的に関わっていくべきだと思う地域活動は、どのようなものですか。  
 あてはまる番号すべてに○を付けてください。

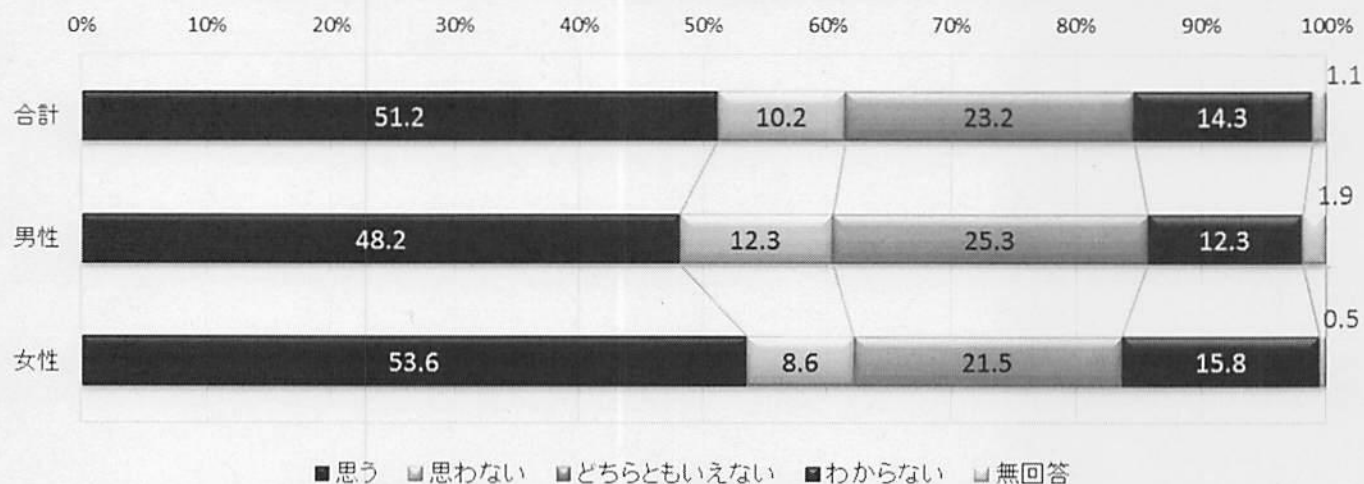
問12 女性が積極的に関わっていくべき地域活動 (複数回答)



・「行政区運営」48.3%、「サークル活動」35.0%が回答の割合が高く、H25 調査と同じ順序となったが、「防犯・防災活動」や「NPO・ボランティア」の回答の割合が減少している。

問13 地域活動において「実際には女性が担い手である場合が多いものの、方針決定など行う役職者は男性が多い」という見方がありますが、どう思いますか。あてはまる番号に○を付けてください。

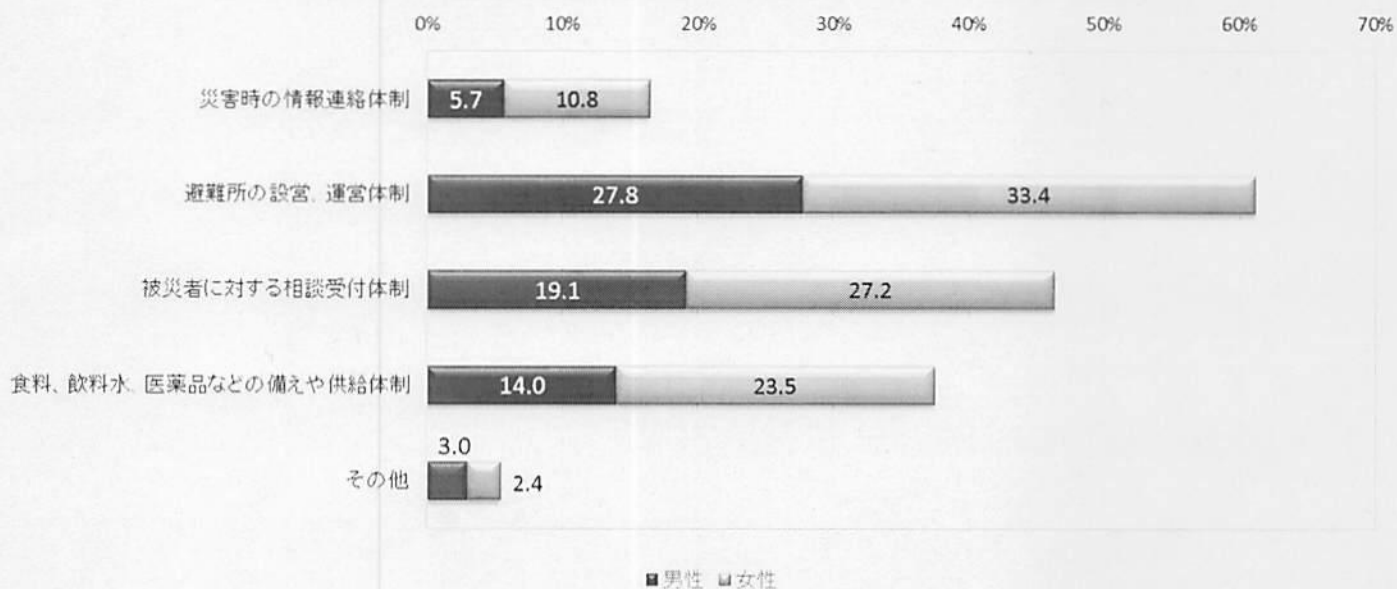
問13 地域活動において「女性が担い手であるが役職者は男性が多い」と思うか(男女別)



- ・「思う」と回答した男性が 48.2%に対し、女性は 53.6%で過半数を超えており、「役職者は男性が多い」と考える女性が多いことがみられる。

問14 防災・災害復興において、男女の性別を考慮して取り組む必要があると思うものはどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

問14 防災・災害復興において男女の性別を考慮するもの（複数回答）



・「避難所の設営、運営体制」61.2%、「被災者に対する相談受付体制」46.3%、「食料、飲料水、医薬品などの備えや供給体制」37.5%の順で必要と回答されたものが多かった。

問15 避難所の設営、運営体制について、男女が安心して避難できる避難所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

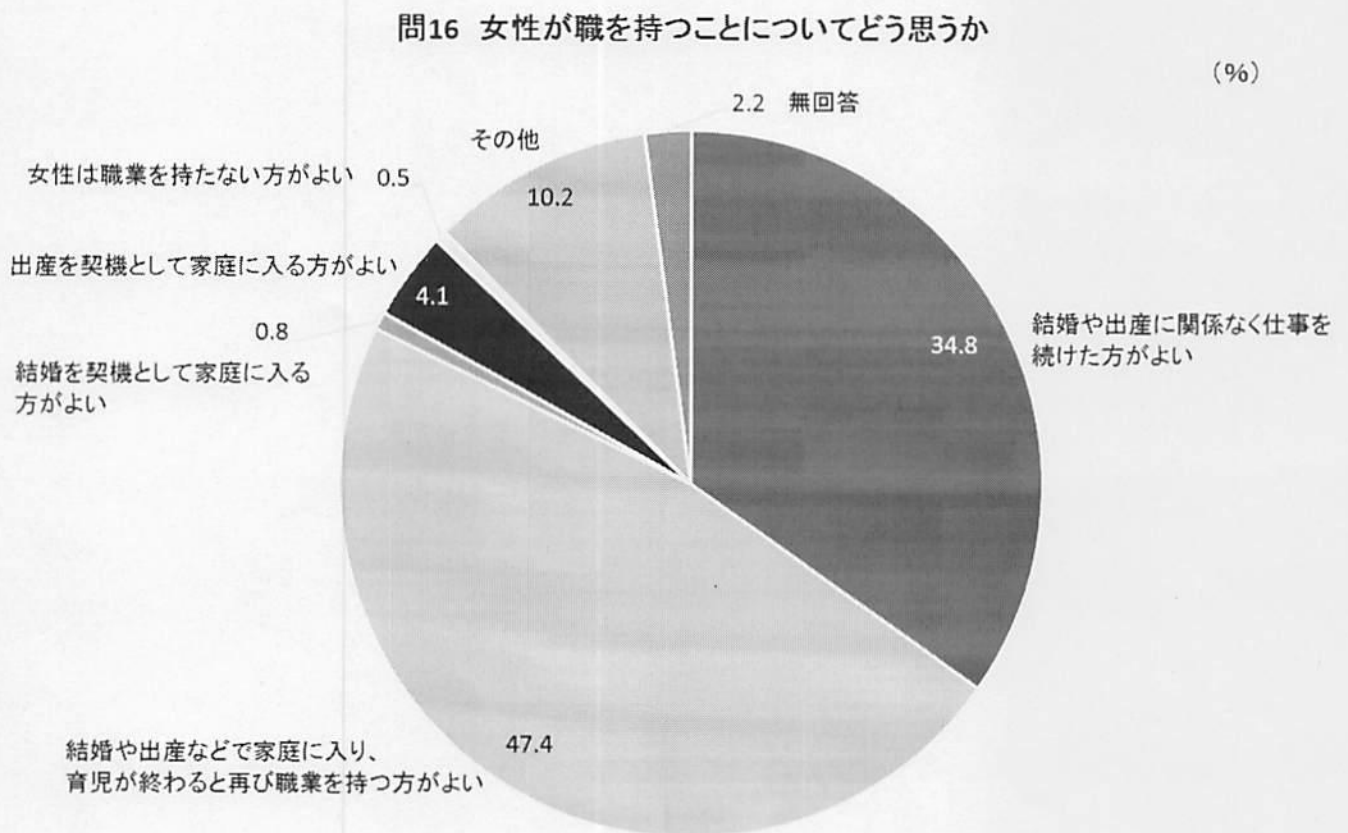
問15 安心して避難できる避難所として必要なこと (複数回答)



- ・「男女別のトイレ、更衣室の設置」82.2%、「プライバシーに配慮した待機場所の設置や工夫」66.6%と個人のプライバシーに関することへの配慮についての回答の割合が高かった。
- ・「女性の意見を反映させやすいよう、避難所運営責任者に女性を入れる」との意見も、半数以上の回答があった。

## D. 仕事、家庭生活における男女共同参画について

問16 あなたは、女性が職をもつことについてどう思いますか。  
あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。



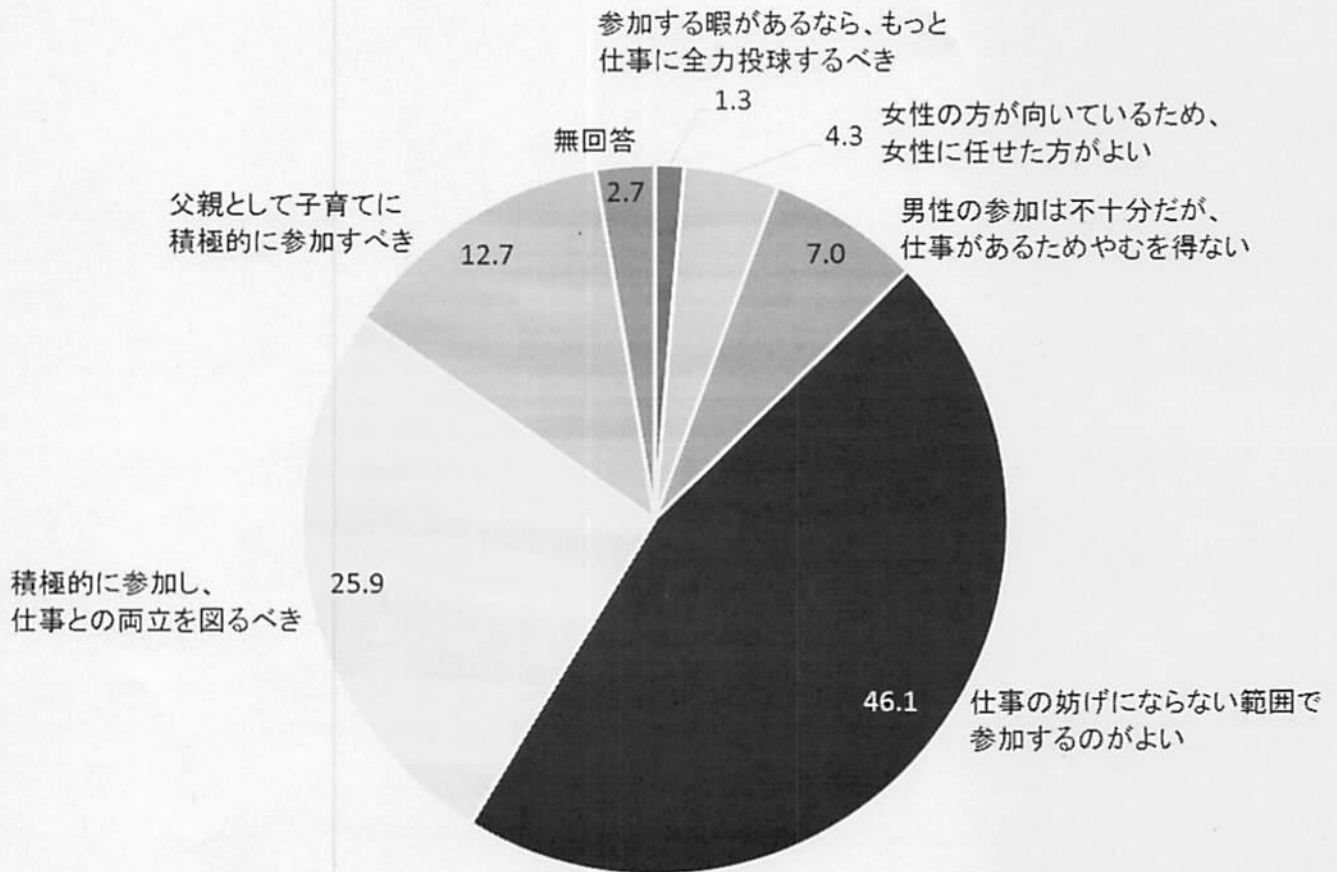
- ・「結婚や出産などで家庭に入り、育児が終わると再び職業を持つ方がよい」が 47.4%と割合が高く、次いで「結婚や出産に関係なく仕事を続けた方がよい」が 34.8%となっており、女性が職を持つことへの賛成意見が多い結果となった。



問17 あなたは、男性の家事・育児への参加をどのように思いますか。  
 あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

問17 男性の家事・育児への参加

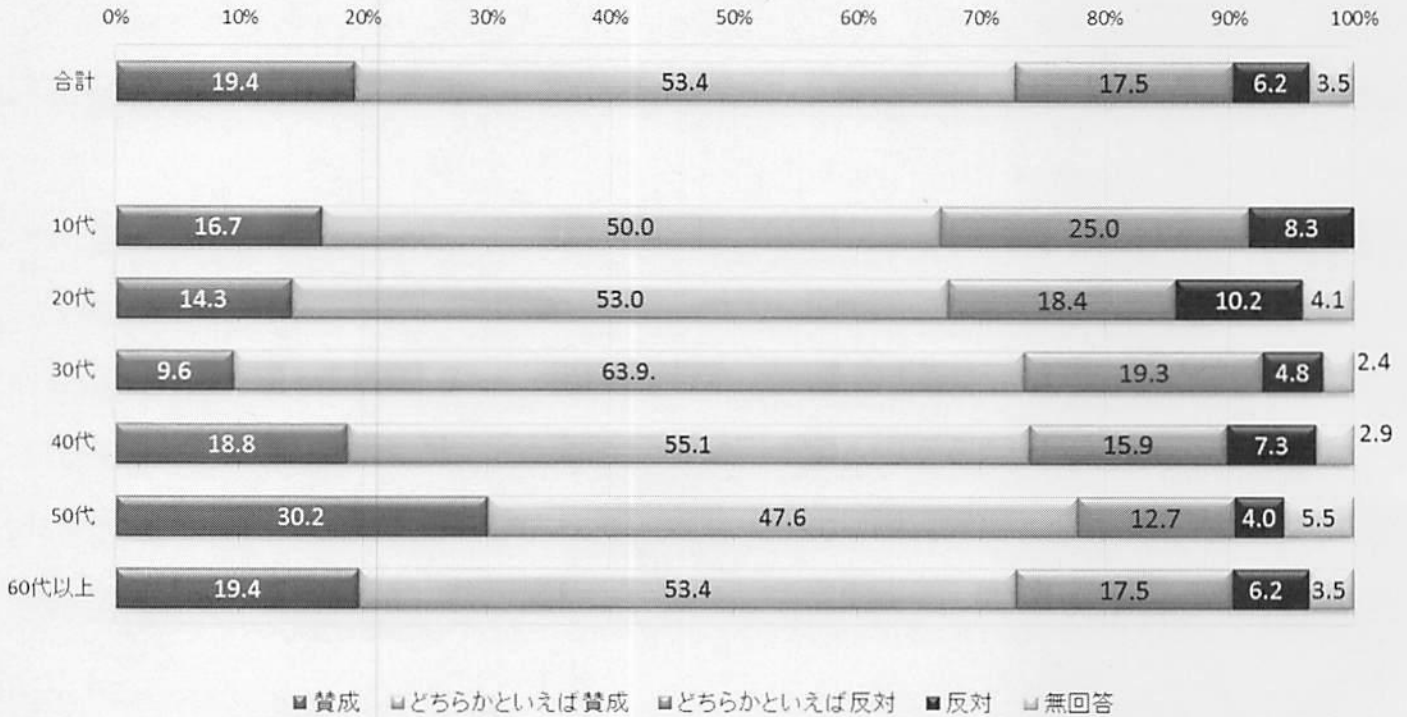
(%)



・「仕事の妨げにならない範囲で参加するのがよい」が全体で 46.1%、「積極的に参加し、仕事と家庭の両立を図るべき」が全体で 25.9%で男性の家事・育児への参加に肯定的な意見が多い。

問18 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく子育てする」という考え方をどう思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

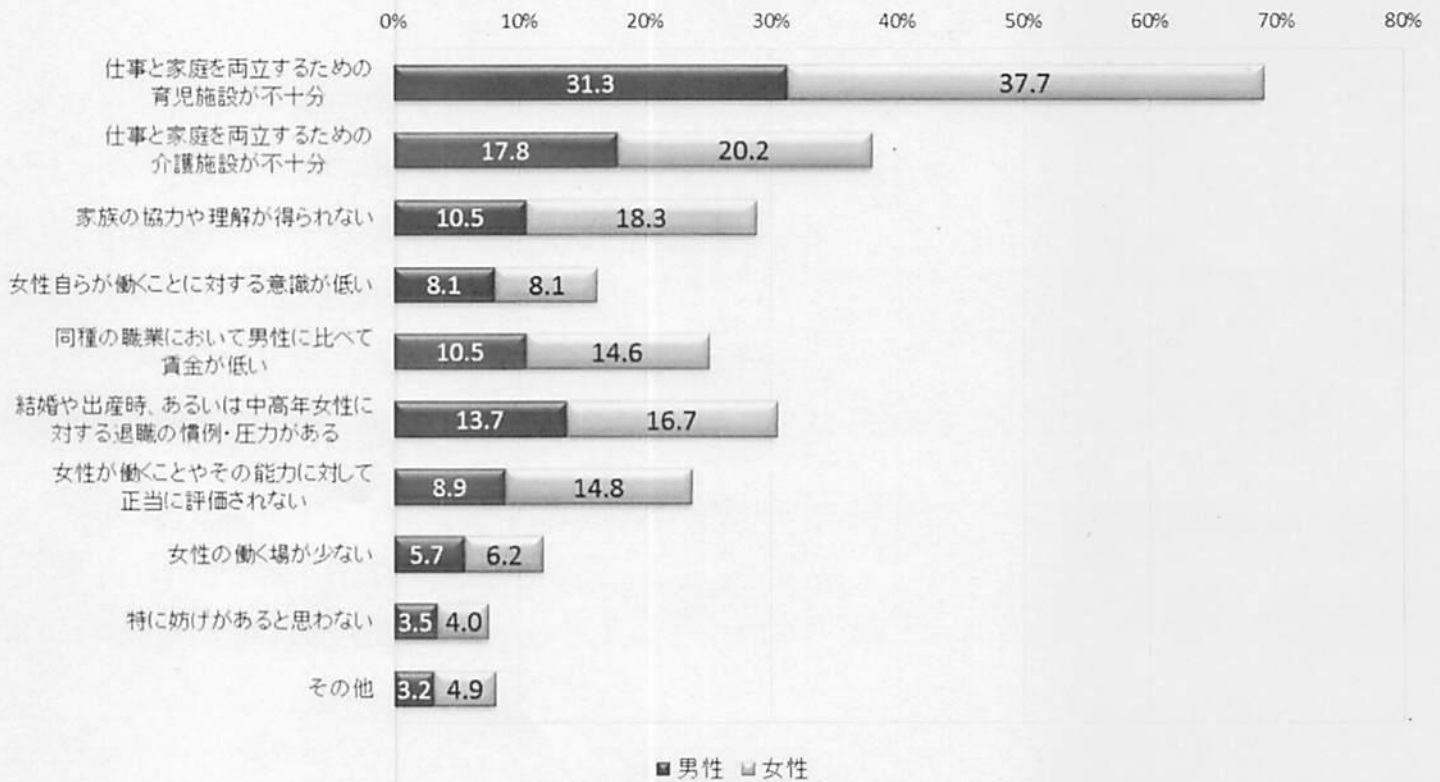
問18 「男の子は男の子らしく・女の子は女の子らしく子育てする」考え方をどう思うか



- ・「賛成」「どちらかといえば賛成」で全体の7割程度を占めているが、H25調査より減少している結果となった。(H25調査78.5%)
- ・「賛成」「どちらかといえば賛成」の回答割合が最も高い50代は、最も低い10代に比べて11.1ポイント高い結果となった。

問19 あなたは、女性が職業に就いたり、仕事を続けるうえで妨げとなっているのは何だと思いますか。あてはまる番号を3つ選んで○を付けてください。

問19 女性の就業や仕事を続けるうえでの妨げは何か(複数回答)

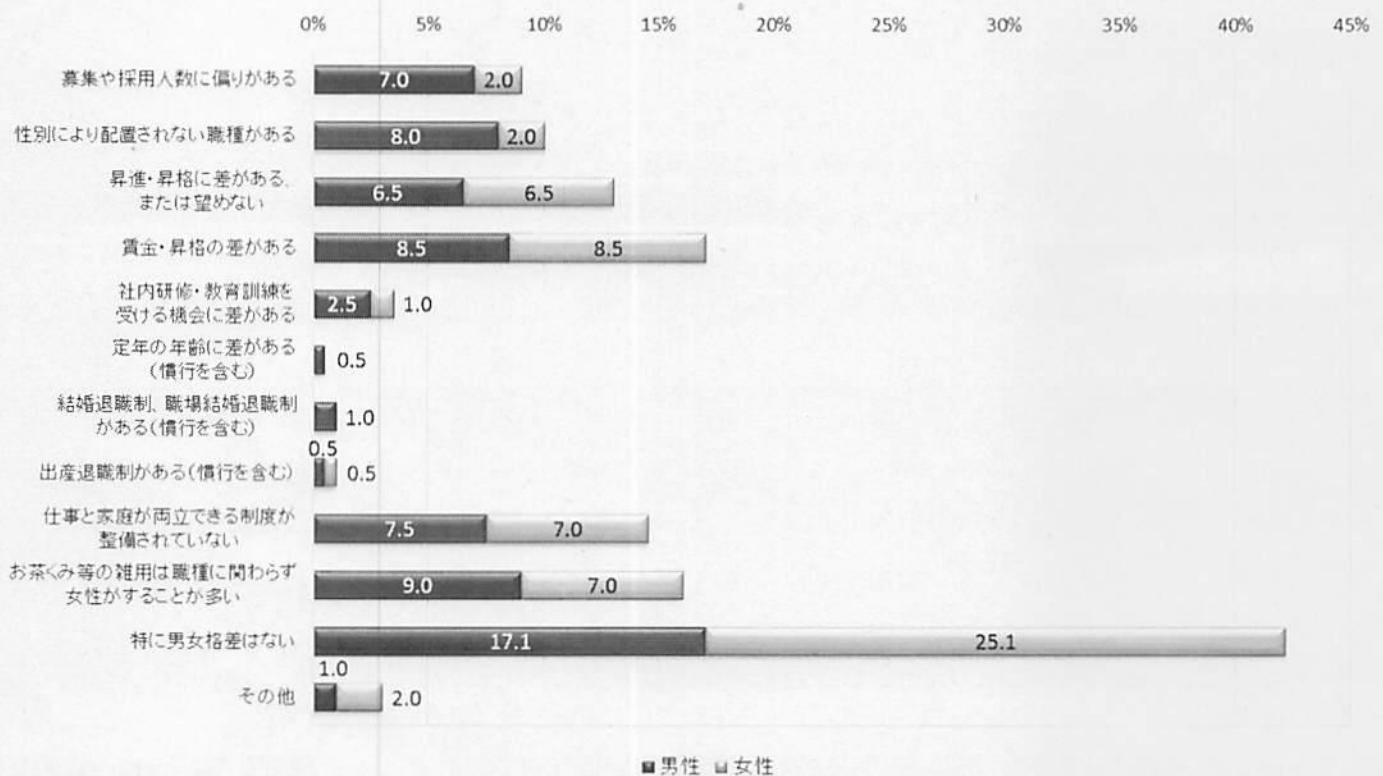


・男女共に「仕事と家庭を両立するための育児施設が不十分」と回答した人が最も多かった。

問20 <<問5で正社員、契約社員、派遣社員、パートタイム、アルバイトと答えた方におたずねします>>

あなたの職場で、性別により不利な扱いをされることがありますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

問20 職場で不利や扱いをされることがあるか (正社員、派遣社員・契約社員、パート・アルバイト)

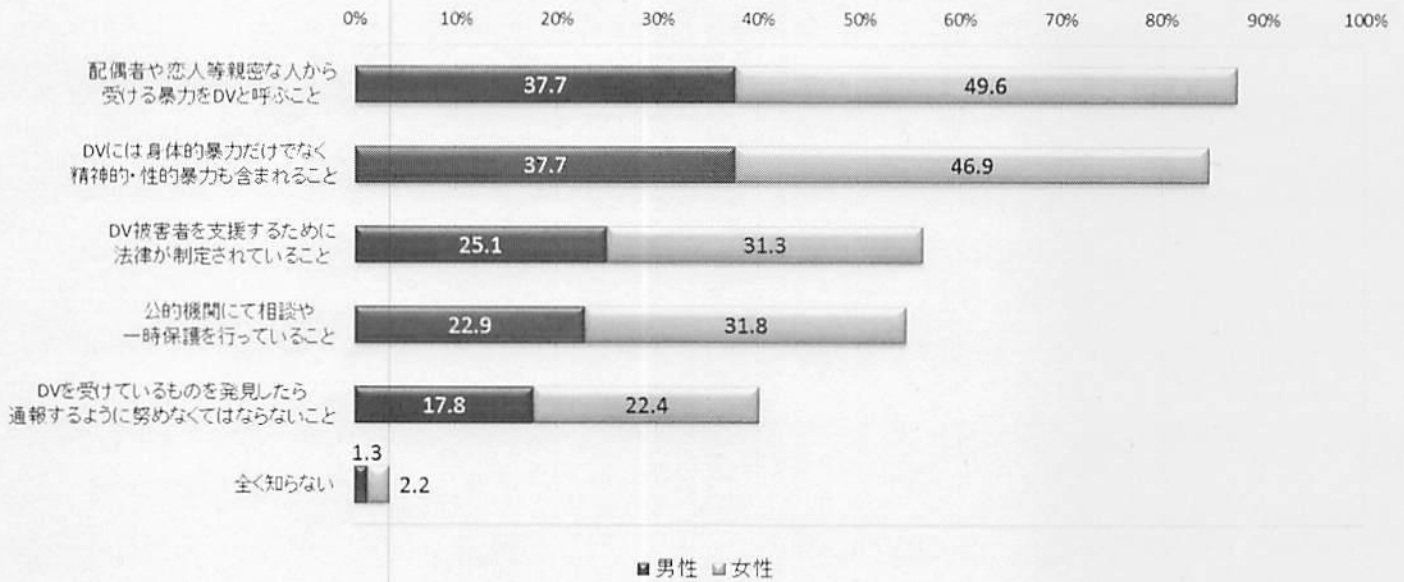


- ・「性別により配置されない職種がある」「昇進・昇格に差がある、または望めない」と回答した人は、H25 調査に比べて減少したが、一方、「賃金・昇格の差がある」と回答した人が増加している。
- ・「特に男女格差はない」と回答した人は 42.2%で H25 調査の 46.1%から 3.9ポイント減少した。

## E. 配偶者や恋人からの暴力（DV）について

問21 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)に関する次のことを知っていましたか。  
知っていたことすべてに○を付けてください

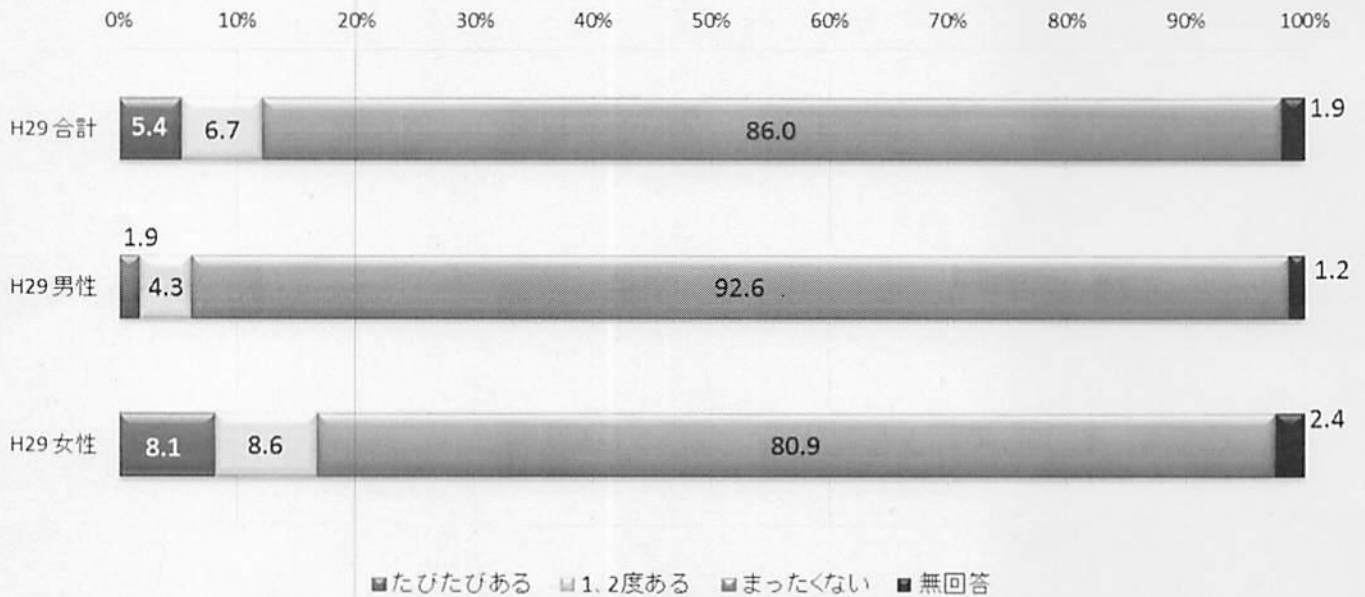
問21 DV(ドメスティックバイオレンス)に関する認知度（複数回答）



- ・DVとは何かについての認知度は高いものの、支援制度等については、まだ認知が進んでいない。

問22 あなたは、配偶者・パートナー・恋人との間において、DVを受けた経験がありますか。  
あてはまる番号に○を付けてください。

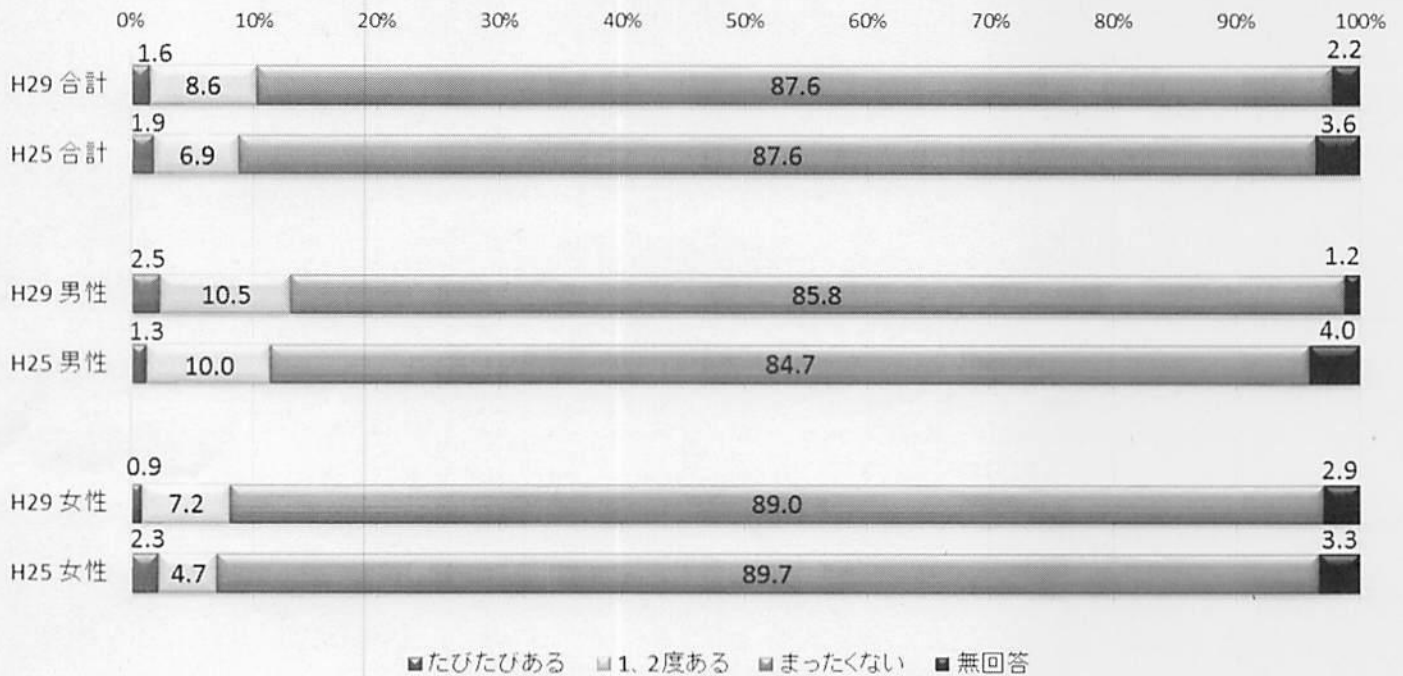
問22 配偶者・パートナー・恋人からDVを受けた経験があるか(男女別)



・DVを受けた経験がある人が、男性 6.2%に対し、女性は 16.7%であり、女性の方が高い割合となっている。

問23 あなたは、配偶者・パートナー・恋人との間において、DV にあてはまる行為をした経験がありますか。あてはまる番号に○を付けてください。

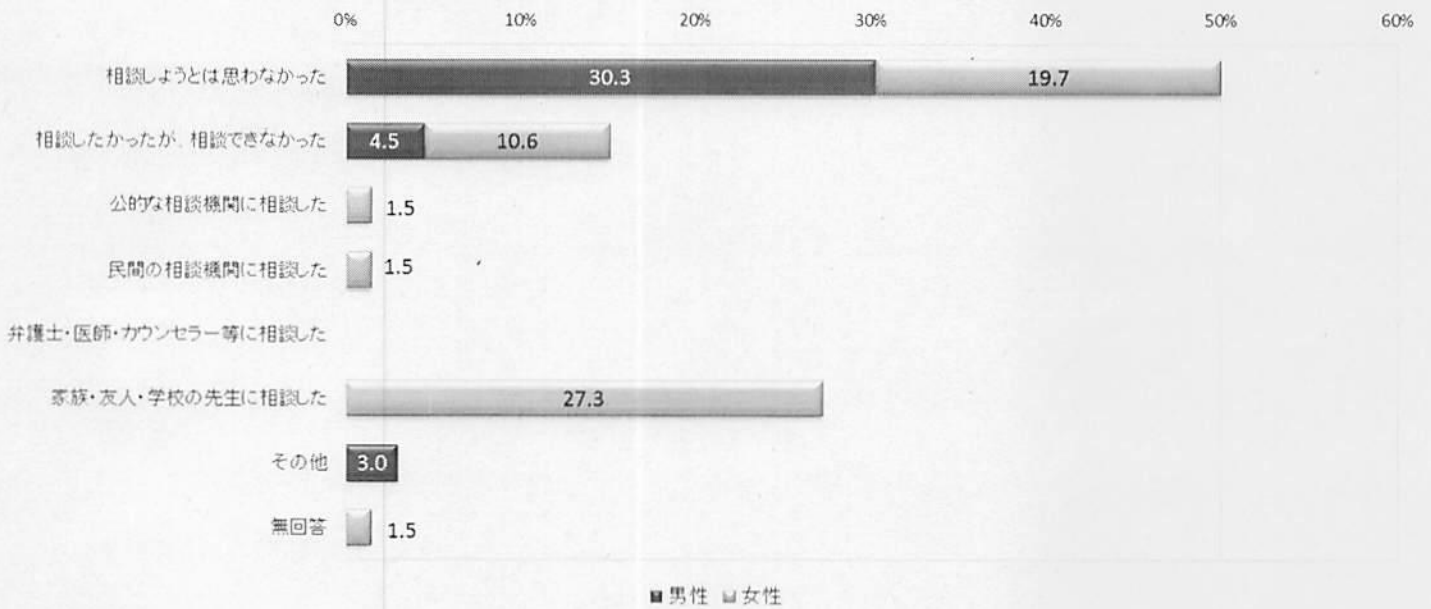
問23 配偶者・パートナー・恋人にDVにあてはまる行為をした経験があるか



・男女共にDVにあてはまる行為をした経験が「たびたびある」「1、2度ある」と回答した人の割合がH25調査に比べて増加している。

問24 <<問22、問23で「たびたびある」「1、2度ある」と答えた方におたずねします>>  
 あなたは DV を経験した時、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問24 DVを経験した時に誰かに打ち明けたり相談をしたか（複数回答）

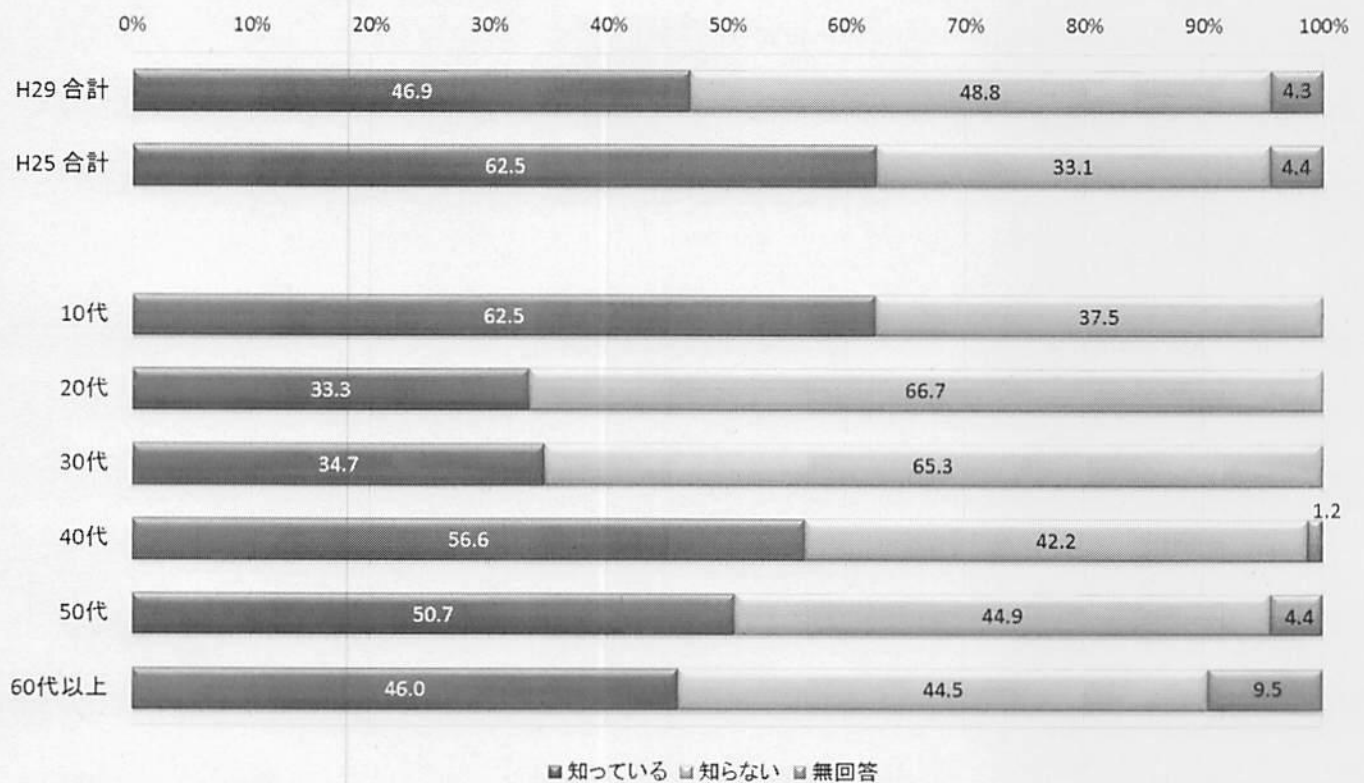


- ・「相談しようと思わなかった」と回答した人の割合は 50%で H25 調査の 34.7%に比べ、15.3 ポイント増加した。
- ・「家族・友人・学校の先生に相談した」と回答した人の割合は 27.3%で H25 調査の 20%に比べ 7.3 ポイント増加したが、一方「相談したかったが、相談できなかった」も増加している。



問25 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。

問25 DVについて相談できる窓口があることを知っているか(年代別)



- ・相談窓口があることを「知っている」と回答した人の割合は、46.9%でH25調査結果の62.5%に比べて15.6ポイント減少した。
- ・年代別では、20代及び30代が「知らない」と回答した人が「知っている」人の割合を上回る結果となった。

問26 DVについて、被害者が相談しやすくするためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
 あてはまるすべての番号に○を付けてください。

問26 DV被害者が相談しやすくするためには（複数回答）

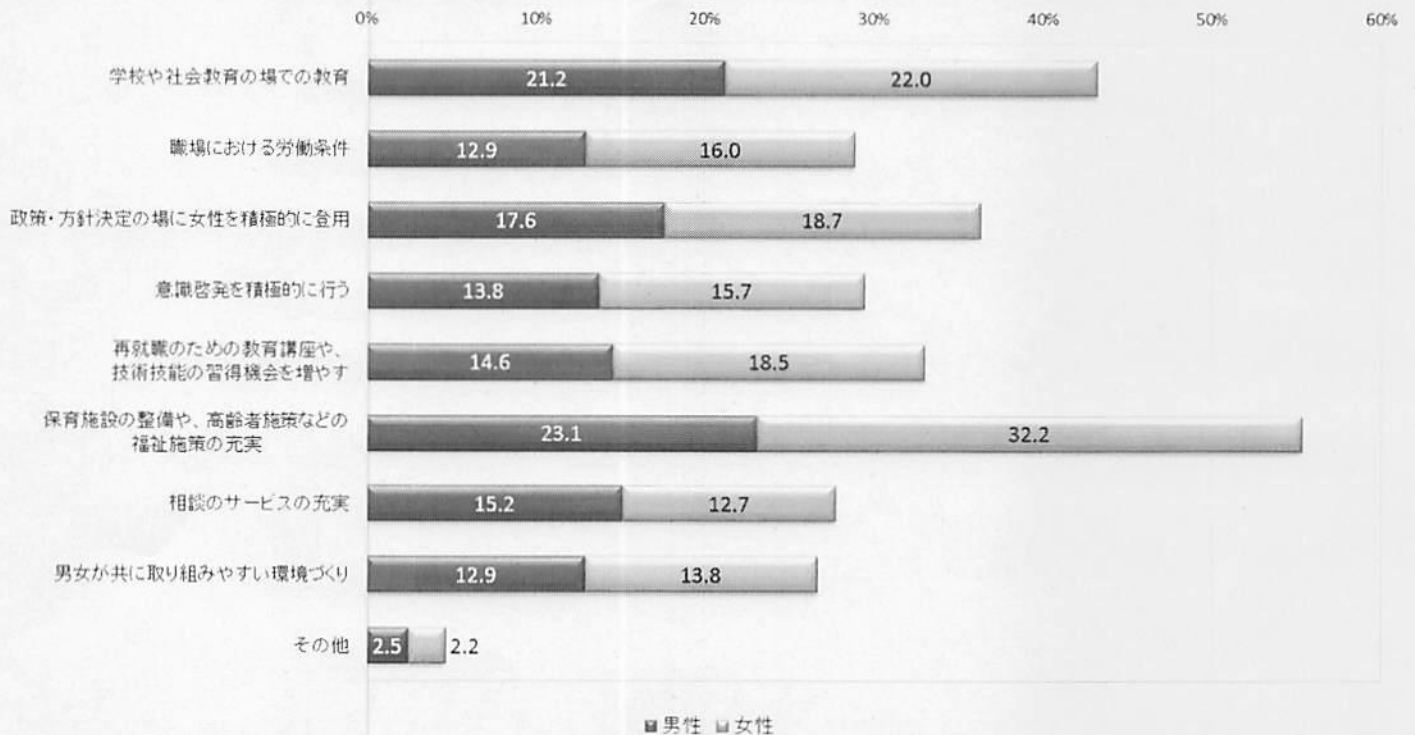


- ・DV被害者に対する相談体制の整備については、「プライバシーの安全が確保された場所で相談できるようにする」との回答が70.6%と最も高く、続いて「相談窓口や制度についてPRする」が54.7%の回答結果となった。

## F. フランの推進体制について

問27 男女共同参画社会の形成を推進するために、みよし市は特にどのようなところに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

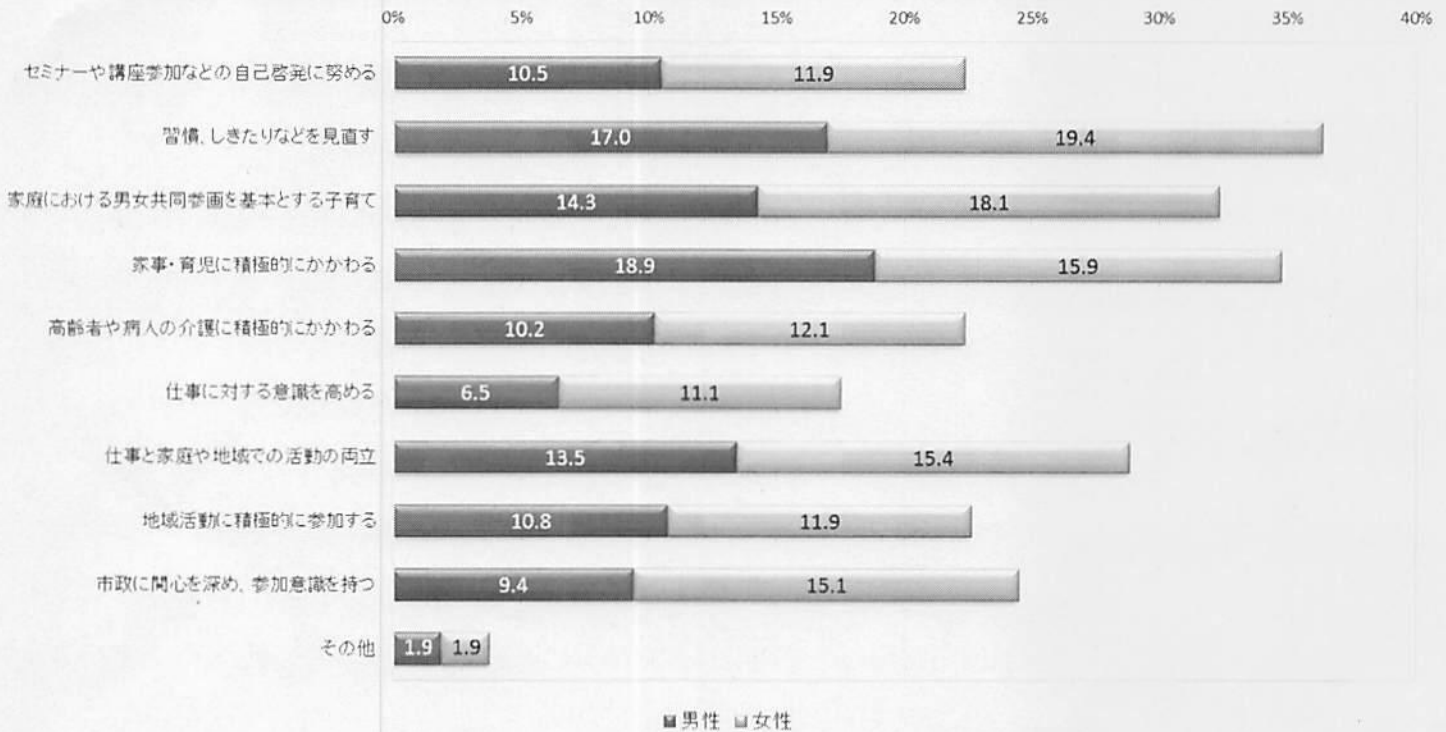
問27 男女共同参画社会の形成の推進のために力を入れていくべき点（複数回答）



- ・全体としては、H25 調査結果と同様に「保育施設の整備や、高齢者施策などの福祉施策の充実」が最も高く、50%を超える割合であった。
- ・H29 調査で 43.2%と 2 番目に高かった「学校や社会教育の場での教育」は、H25 調査の 29.7%に比べ 13.5 ポイント増加した。

問28 あなたは市民として、「男女共同参画社会」の形成を推進するために何をすべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問28 「男女共同参画社会」の形成を推進するために何をすべきか（複数回答）



- ・男性は「家事・育児に積極的にかかわる」が 18.9%で最も高く、H25 調査の 13.2%に比べ、5.7ポイント増加している。
- ・全体においては H25 調査では「仕事と家庭や地域での活動の両立」が最も高かったのに対し、H29 調査では「習慣、しきたりなどを見直す」が最も高くなった。